

本号のテーマ：「もう一步を進めよう」

1 子どもの願いを受け止め、少しの向上にも気付ける大人でありたい

先日、市内の小学校2年生の日記に触れる機会がありました。こう書かれていました。

「校長先生は、いつもニコニコして話します。だから、学校中が明るくなるのかな。と思いました。」

早速、その学校を訪ねると、様々なことに気付き学ぶことができました。

①「早く、みんなと親しくなろう」と本気で踏み出す時、その人は笑顔で語りかけます

この先生が、今、特に大切にしておられることは、

ア 通学の時間帯、学校周辺を巡り、見守り隊の皆さんに挨拶し、時には一緒に活動する。

イ 日中、なるべく校内の廊下や教室を巡り、子どもたちに声をかけ語り合う。

ウ 授業を参観しては、子どもの実態に合わせた努力や工夫について話し合う。

「ニコニコ」の笑顔の向こうに校長先生の強い願いがあったのです。赴任したばかりで、顔も名前も分からない。子どもたちとも、先生方とも、地域の皆さんとも、早く親しくなりたい。そのためには、自分から踏み出そう。笑顔で語りかけよう。この強い思いは、きっと出会う一人ひとりを温かく包むのでしょう。

② 声をかけられた喜びや、語り合えた時の充足が生きる力を育てます

校長先生と言葉を交わした子どもたちは、うれしさ一杯で、家の人に話したくなるでしょう。ましてや、何かほめてもらえたなら、大きな自信につながるはずです。

先生と子どもとの関係にとどまらず、私たち大人の日常においても、人と人との関わり中で「声のかけ合い」はとても大切なことです。相手の素晴らしさや努力を、もっと素直に受けとめ、声をかけ合いたいと思います。

③ 「ほめる」とは、子どもたちの小さな成長に気付き、その感動を表現し伝えることです

この学校では、「子どもも大人も、うまくいっている人も、そうでない人も、皆一生懸命生きている。皆、丸ごと受けとめたい」と願い、「子どもも大人も、皆、ほめて欲しいところがあり、『よくやってるね』と認めて欲しい思いがある。丁寧に寄り添いたい」と確認しあっています。

さて、数年前、小中学生対象のアンケートをまとめました。

質問は「父さん、母さんに伝えたいこと」についてで、その中に気になる記述がありました。

ア 「私のこと忘れないで」

イ 「たまには、何か言って下さい」

ウ 「もっとほめてほしい。自分の頑張ったこと、他人には言えないから話すのに」

ア、イからは家庭での寂しげな子どもの表情がみえます。ウは素直な本音です。

「ほめる」とは、まず、慈愛のまなざしで子どもたちに向きあい、(その生き方が多少ぶれていようが)懸命に生きている姿に気付くこと。そして、そこには必ず、小さな工夫や努力、進歩等がありましよう。それらを感じ動的に受け止め、その喜びを子どもたちに音叉(おんさ)の如く伝え、返してゆくことだと気付きます。残された課題は、むしろ、大人の私たちが、子どもたちの小さな変化を見逃さない眼と、感動的に受け止める心の豊かさを耕し続けているかなのでしょう。子どもの成長に追いついてゆける大人でありたいものです。

2 人と人の豊かなかわりを願って、もう一步、進めよう

① 新中込会館の開設

4月2日、JR中込駅近くに、公民館施設「市中込会館」の開館式が開かれました。恵仁会の「中込施設」の2階部分です。新中込会館は約1,435㎡で、ホール、会議室、料理講習室、創作室(工作台8台)などがあり、旧会館では手狭だった駐車場は、今回、鉄骨3階建て(200台収容)が用意されました。

当日、榎澤晴樹教育長は「生涯学習の拠点となり、多く利用されることを願っている」とあいさつされ、開館記念セレモニーとして中込会館で学ぶ受講者の演奏等が行われました。市民の皆さん、さしあたっての利用予定がなくても、ぜひ見学にお出かけ下さい。

② すそ野の広い活動を目指す「親子で参加する公民館」活動

もとより、公民活動の原点である「集う、学ぶ、結ぶ」をふまえ、中央公民館(市民創錬センター)を拠点施設とし、多くの地域公民館と7つの地区公民館の活動が展開されています。

本年は、従来の取組みに加えて、信州型コミュニティスクールの育成への協力を視野に入れ、各学校等とも連携して進めていきます。



昨年の「夏休み子ども公民館」の様子

とりわけ、「夏は親子(家族)で公民館へ出かけよう!」と特別企画を練ってきました。

その一部をご紹介します。

ア「飯ごう炊はんと星の教室」	指導：佐久おやじの会	申込み：臼田公民館
イ「簡単！くんせい講座」	指導：公民館職員	申込み：浅科公民館
ウ「平尾山 宝さがし探検隊！」	指導：倉澤祥子先生	申込み：野沢公民館
エ「山で見つけよう！貝の化石（駒込地区）」	指導：渡辺正喜先生	申込み：東公民館
オ「どうぶつに大変身！木の実で工作教室」	指導：福島政規先生	申込み：中込公民館
カ「オリジナルハンコをつくろう！」	指導：はんこやミツキ	申込み：浅間公民館
キ「もちづき子どもまつり」		申込み：望月公民館
ク「ペットボトルロケット作りに挑戦！」	指導：佐藤照雄先生	申込み：中央公民館

———まだまだ、たくさんの企画があります。詳細は、各公民館に！———

「わくわく、どきどき 公民館」と銘打って、もう一歩進める今年の実践が楽しみです。